

澁川一流柔術
無雙神傳英信流抜刀兵法

貫汪館会報

第63号

発行 貫汪館
発行日 平成二十二年二月十七日
発行人 森本邦生
広島県廿日市市宮内一四八〇

「日本古武道厳島神社演武大会」

平成21年11月30日(日) 厳島神社
被殿において、第20回日本古武道厳島
神社演武大会(日本古武道協会主催)
が開かれました。

澁川一流柔術は、今大会が15回目の
参加ということで、日本古武道協会よ
り表彰を受けました。

今回の演武大会も大人・子供と2組
参加させていただきました。

子供たちの演武は、道場での稽古ど
おり大きな声がでており、堂々とした
演武ができていたと思います。また、
他流派の先生からも「控えている姿勢
が気持ちよかったです。」と、お褒めの言
葉を賜りました。

大人の方の演武ですが、周りが気に
なったのか、緊張されていたようで、
少し動きがかったように思いま
した。「上手に演武しよう」とか、「失
敗したらどうしよう」とか考えずに、
いつもどおり心を落ち着かせて演武
できるよう、さらに精進してください。

例年演武会は、予定時間を大幅にオ
ーバーするので、今大会では各流
派とも予定時間内での演武に配慮い
ただきました結果、ほぼプログラムど
おり順調に進行しました。

(文責 竹本 康祐)



平成二十一年貫汪館稽古納め

・廿日市天満宮奉納演武

平成21年12月27日(日)、今年
度最後の稽古及び廿日市天満宮に
おいて奉納演武会がおこなわれま
した。当日は去年のみぞれ混じり
の空模様とは違い、よく晴れた心
地のよい朝でした。稽古は9時よ
り廿日市市スポーツセンター・サ
ンチェリーにおいて、柔術と居合
の合同でおこなわれました。森本
先生、竹本師範代を前に門弟大人
と子供合わせて23人が整列、稽古
始めの挨拶をし、先生より今日が
今年最後の稽古であること、演武
を3本おこなうこと、演武は神様
にみていただくので、素直な心で
行うこととお言葉をいただいた
後、それぞれが自分の演武形を3
本決めました。柔術、居合と場所
をわかれて、それぞれが時間まで
自分の稽古をおこないました。普
段とは違った雰囲気の中、板の間
では居合の稽古を、畳の方ではは
じめの30分を子供達が稽古をおこ
ない、残りの時間を大人の稽古に
当てられました。約1時間半の稽
古の後、再び整列をし、森本先生
より「今から廿日市天満宮で奉納
演武をしますが、素直な心で演武
を行ってください。間違えたから
といって間違えた顔をせず、神様
は心を見ていますので、そのまま
素直な心で演武を行ってください
い。」と演武上の心得を述べられま
した。その後、サンチェリーより
場所を移し、それぞれの車に乗り
合わせて、廿日市天満宮へと向か
いました。

廿日市天満宮到着後、廿日市天
満宮・林 宮司による祝詞、玉串
奉納と続き、正式参拝後、林宮司

より、「日ごろの稽古で身につけた
技を、無事に神様に奉納してくだ
さい。」とお言葉の後、全員での
記念撮影をしました。今年奉納
演武の開始前に、前日に行われた
昇段・昇級審査の証書の授与式と
なりました。子供9名と大人4名
がそれぞれ昇段・昇級の許しを得、
一人一人名前を呼ばれ、緊張した
面持ちの中、森本先生より証書を
手渡されました。その後、奉納演
武となり、初めに森本先生が居合
の演武を、次に竹本師範代が柔術
の演武を、また、最後に森本先生
と久留米から来られた丸田師範代
による居合(詰合・大小詰)が行
われました。門弟の演武は、子供
からはじまり、年少は2名ずつ演
武を行い、年長者は一人ずつ行い
ました。子供たちは、固まること
なく素直な動きで、大きな声の気
合が出ており、日ごろの稽古で指
導されていることを素直に聞き、
身につけようとする姿勢が現れて
いる演武だと思いました。子供の
演武には見習うところが多いと思
いました。大人の演武は柔術と居
合が交互に演武されました。大
人の方の演武も日ごろの稽古の成
果が見られる演武で、子供たちのよ
い見本となる演武をされていたと
思いました。その後、丸田師範代
の居合の演武、森本先生の柔術の
演武を最後として、平成21年の奉
納演武を終えました。演武終了後、
再び整列をし、森本先生より「子
供たちは素直でよい演武をされて
いました、演武を見ている姿勢も
よかったです。居合の方もよい演
武をされていました。柔術の方も
よかったです。今日で今年の稽古
は終わりですが、「稽古がお休みの
間は、心の稽古を日常の中で行っ
てください。」と、お話をされまし
た。

演武会において、人前で演武を

すると、それぞれ自分の心の有りようがわかり、自分の至らないところに気づかされることと思えます。また、先生方や他の方の演武を見ることで、自分との動きの質の違いに気づき、これから求めて行く動きが理解でき、一人一人が目標をもたれたことと思います。

今日気づいたことを忘れずに、森本先生がおっしゃられた様に、お休みの間も一日を大切にしながら日常生活の中での稽古を怠らないように宜しく願います。

最後に、今年も年間ありがとうございました。来年も宜しくお願いいたします。稽古始には一人も欠けることが無くお会いできることを楽しみにしています。御身体には十分にお気をつけて、よいお年をお迎えください。

(文責 片岡潤一)



昇級・昇段者

平成21年12月の審査において、次の方々がそれぞれ昇級・昇段されました。おめでとうございます。今回の審査では、特に子供たちが上達していると感じました。これも、大人の方に厳しくご指導いただいたおかげだと思えますが、次回の審査に向けてさらにご指導いただきますようよろしくお願い致します。また、今回昇段された大人の方は、再度自分の段位をよく認識され、自分の目標を明確にして稽古に励んでください。

七級

松尾 厚輝

六級

向井 薫子

中郷 野々花

大本 平太

五級

中郷 資

四級

向井 昭啓

中郷 稔

三級

北川 太一

一級

山下 風花

二段

ジヨシユア・ペレテイエ

三段(初傳)

中西 有希奈

六段

竹本 治恵

片岡 潤一

平成22年度行事予定

広島護国神社奉納演武

4月4日(日)

京都下鴨神社奉納演武

5月4日(火)

京都白峯神社奉納演武

5月5日(水)

昇級・昇段審査

6月26日(土)

日本武道学会第43回大会

9月2日(木)～3日(金)

明治神宮奉納古武道演武大会

11月3日(水)

日本古武道厳島神社演武大会

11月28日(日)

昇級・昇段審査

12月18日(土)

稽古納め・廿日市天満宮

奉納演武

12月26日(日)